

ならコープは創立50年を迎えました

50th
ありがとう50年

ならコープ(当時は奈良市民生活協同組合)は2024年7月25日に創立50年を迎えました。今や、奈良県民の約5割が加入するまでになりました。多くの組合員から「コープがあってよかったね」と言ってもらえるよう、これからも組合員・役職員が力をあわせて、より一層努力し続けていきます。ならコープはこれからも、協同の原点を大切に、今日よりもっといい明日をめざして組合員の声に応えながら、ともに未来へと歩み続けます。

コープの農場



ならコープは地球環境保全と耕作放棄地の有効活用、地産地消の推進、地域雇用および障がい者雇用の促進などを目的に、五條市阿太地区で農業に取り組んでいます。ホワイトコーン、白菜、赤肉メロン、いちごなどを生産し、店舗や無店舗で供給しています。また、農作物の栽培に必要な温度調整など管理機能にICT(情報通信技術)を用いた農作物の持続可能な栽培にも取り組んでいます。

2025年 組合員のつどい



能登を笑顔に! 応援募金

～能登半島地震・奥能登豪雨災害支援活動～



能登半島地震から2年近くが経過しましたが、奥能登豪雨災害もあって、被災地にはさまざまな課題が残されています。私たちならコープは「能登を笑顔に!」を合言葉に、4月からあらためて応援募金活動を開始しました。この募金は以下の支援に活用されます。

被災地の直接支援

炊き出し、サロン活動、物資提供など、被災者の生活とコミュニティ再建を支援

交流促進事業 「つな♡のと旅企画」

被災地の地域住民を奈良県に招待し、心身の癒しを提供

長期化する復興への道のりで疲れた心と身体を癒し、人と人とのつながりを大切にしたい息の長い支援を続けていきます。

募金方法

店舗

12月14日(日)までサービスコーナーに募金箱を設置しています。

無店舗

12月2回企画まで下記注文番号で受け付けています。

	支援募金
1口= 100円	152048
1口= 1,000円	152056
あったかポイント (100ポイント=1口)	007536

募金の 取り組み

ならコープは組合員から寄せられた募金を、各支援団体にお送りしています。みなさまのお気持ちを募金でお寄せください。ご支援・ご協力よろしく申し上げます。

被爆者救援募金	
	注文番号
1口=100円	151513
1口=1,000円	151572
あったかポイント (100ポイント=1口)	007528

被爆者支援のために尽力している団体を支援します。

【被爆者救援募金の贈呈先】
被爆者団体: 日本原水爆被害者団体協議会
支援団体: 広島原爆被爆者援護事業団、原爆被害者相談員の会、特定非営利活動法人ノーマ・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会
医療機関: 日本赤十字社 広島赤十字・原爆病院、日本赤十字社長崎原爆病院

ユニセフ募金	
	注文番号
1口=100円	151505
1口=1,000円	151521
あったかポイント (100ポイント=1口)	007510

日本ユニセフ協会を通じて、「ミャンマーの女性と子どものための栄養支援プログラム」を指定募金として関西・中四国の13生協とともに取り組んでいます。

福祉募金	
	注文番号
1口=500円	151700
1口=1,000円	151718
あったかポイント (100ポイント=1口)	007501

寄せられた福祉募金は、地域福祉活動をすすめているコープたすけあいの会と社会福祉法人協同福祉会の活動支援に充てられています。

募金についての詳細はこちらからご覧ください



ならコープ

つながろう産地と食卓 ～ええとこ再発見～



私たちの毎日の食卓。そのひと皿ひと皿の向こうには、丹精こめて育ててくれた生産者の姿があります。2025年組合員のつどいでは、「産直」、「地産地消」、「産地指定」、「国産素材」について楽しく学び、商品はもちろん産地や生産者の「ええとこ(よいところ)」をあらためて感じていただける場にしたいと考えています。産地と食卓がしっかりとつながり、未来につながる食の大切さを一緒に見つめ直しましょう。



ならコープの産直



ならコープの「産直」は、一般的に言われる「産地直送」ではなく、「産地直結」を意味します。「産直の5原則」に基づき、組合員と生産者の双方が信頼と納得で結ばれたよりよい商品をお届けします。産直第1号商品は、1974年に開発された「生協牛乳」です。当時、加工乳や調整牛乳が主流であった中、成分無調整牛乳として誕生しました。現在では、110種類以上(2025年9月現在)の産直商品が展開されており、今後も産地と組合員を結ぶ取り組みをすすめます。

地産地消



地産地消とは、生産された農畜水産物をその地域の人々が消費することで、地域の自然、産業、暮らしを守り、支える取り組みを指します。

ならコープでも創立期より地産地消に取り組んでいます。2004年からは地場産品の利用によって地産地消をすすめる「食べる“なら”大和」を展開、2008年からはJAならけんと「地産地消をすすめる会」を発足し、ならコープ全店に地元農産直売所を設置しました。

商品例



産直 治道トマト
奈良県産 ひのひかり



2

双方が確認した生産基準で生産されていること

3

品質が良く組合員ニーズを満たしていること

4

安定した供給・価格の実現ができていること

5

生産者、組合員相互の願いを実現するために交流できること

「産直」の5原則

1

生産者・産地が明確であること



産地指定

産地指定

主要な原材料に産地や栽培方法が明らかな国産素材を使用したコープ商品にマークをつけています。

- 1 産地(生産者または生産者団体)指定で栽培管理が明らか
- 2 産地の訪問点検により、品質・安全性の確認ができる
- 3 産地とのコミュニケーションがとれる

この3つを条件としています。

商品例



北海道の小粒納豆



北海道の野菜ミックス

国産素材

国産素材

主要な原材料に国産素材を使用しているコープ商品にマークをつけています。組合員からのお問い合わせで多いのは「原料は国産ですか」というもの。「わかりやすいマークをつければ、国産原料を使った商品の利用が広がり、日本の農畜水産業を応援することができるのでは」と、そんな想いを込めています。

商品例



国内産 全粒粉 ホットケーキミックス



おいしい長持ち 絹豆腐



生いもカット糸こんにゃく

商品例



生協牛乳



産直紀ノ川みかん



産直函館ロイヤルファーム牛



ならコープ産直取扱品目一覧マップはコチラから